

錦織監督「日本の心込める」 「たたら侍」撮影開始



まず稲佐の浜や弁天島(出雲)

出雲市出身の映画監督・錦織良成さん(52)の最新作で、たたら製鉄をテーマにした映画「たたら侍」の撮影が11日、出雲市大社町の稲佐の浜で始まった。錦織監督は「日本人の心を映画に込めたい」と、意気込みを話した。

初日は、主演の劇団EXILEの青柳翔さん(29)ら俳優陣は参加せず、錦織監督やカメラマンの鍋島淳裕さん(52)ら5人で風景を撮影。朝から雨交じりの天候だったが、撮影時には回復し、錦織監督の「はい、回った。はい、カット」という指示に沿い、稲佐の浜や弁天島などを着々とフィルムカメラに収めた。

錦織監督らは今回、島根に1週間滞在。奥出雲町の

映画「たたら侍」の撮影を始めた錦織良成監督(右)

ピンクリボンのツリーお目見え

関連図書の特典コーナーもあり、啓発活動に一役買っている。25日まで設置される。ツリーによる啓発活動は、乳がん検診受診者の増加を目的に県環境保健公社が2010年から同市内の百貨店などで毎年実施。今年

松江・県立図書館で25

ンクリボンと1千球の発光タイロートで彩られ、午前9時から午後7時まで点灯される。2階のがん関連図書コーナーには乳がんなど各種がんの関連書籍約500冊があるほか、県内各地のがんサロン情報なども閲覧できる。ツリーは県立図書館のほか、浜田市浅井町のJR浜田駅にも設置されている。

乳がん早期検診呼び掛け



雲海や、製鉄の神を祭る金屋子神社(安来市広瀬町西比田)などを撮影する予定。1月には日刀保たたら(奥出雲町大呂)の操業や、雪景色を収める。俳優陣は3月以降に参加する予定。

たたら侍は、EXILEのHIROさんがエグゼクティブプロデューサーとして、初めて映画製作に携わる話題作。2016年の公開を目指している。

街角トピックス



あるべき日本について持論を述べた桜井よしこ氏

出雲

◆桜井よしこ氏が講演

国家基本問題研究所(東京)理事長でジャーナリストの桜井よしこ氏が11日、出雲市塩治有原町2丁目の市民会館で講演し、日本の歴史や、中国や米国などの外国の情勢変化を踏まえながら今後の日本のあるべき姿について持論を述べた。

講演は出雲商工会議所とJAいずみが企画。市民ら約1千人が聞き入った。

桜井氏は、「2700